

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【植水小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	＜学習上の課題＞単元内では、基本的な内容の理解・習得はできているものの、学習内容が長期的に定着せず、次の単元や場面で活用できない児童が見られる。 ＜指導上の課題＞当該学年以外の内容を補う指導や、既習事項の定着を図る時間の確保が難しく、系統的な学びにつなげにくい状況にある。	⇒ 1. 既習事項の定着を図る支援(活用学習の充実) ・既習内容を振り返る学習や練習問題に取り組みこことで、知識の整理と定着を図る。【毎単元末】 ・暗算(国・算タイム)を活用して、つまづきの多い内容の反復演習に取り組み(週1回程度)。 2. 振り返りの実施 ・振り返りを通して、児童自身が「わかったこととわからないところ」に気付き、教師が適切な支援を行えるようにする。【毎時間】 3. 学習状況の定期的な把握と分析 ・単元ごとのミニテストや単元テスト後の分析を定期的に行い、つまづきやすい内容を学年内で共有し、対応を図る。【テスト及び学習状況調査後】
思考・判断・表現	＜学習上の課題＞難しい問題に直面した際に粘り強く考え続けることができず、すぐに諦めてしまう姿が見られる。 ＜指導上の課題＞知識・技能の定着を優先するあまり、児童が自分の考えを深めたり、根拠をもって表現したりする場を十分に確保できていない。	⇒ 1. 「自分の考えをもつための思考の時間を確保」 ・問題に対して、「まずは自分で考えてみる時間(個人思考)」を確保する。【毎時間】 ・ワークシートを活用し、自分の考えを書く・修正する機会を設ける。【毎単元】 2. 協働的な学びによる思考の可視化と深化 ・ICTの共同編集機能等を活用して、考えの過程を「見える化」し、児童同士で考えを共有・比較・統合する場をつくる。【毎単元】 3. 言語活動の充実 ・国語・算数を中心に、自分の考えを言葉で「説明する」「書く」活動を継続的に取り入れる。【毎単元】

全国学力・学習状況調査
<小6・中3>(4月～5月)

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		① 結果分析(管理職・学年主任等) ② 詳細分析(学年・教科担当) ③ 分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)

① 結果分析(管理職・学年主任等)

② 詳細分析(学年・教科担当)

③ 分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)